

令和元年度活動計画書

特定非営利活動法人このとりのゆりかご in 関西

1. 「このとり・にんしんSOS」電話相談事業の充実と、面談事業の本格的開始

(1) 妊娠、出産に悩む妊婦と、その家族のための電話相談および面談事業

予期せぬ妊娠に悩む妊婦らを対象に電話相談を開設して1年4ヵ月が経過しました。この間、のべ83件(48名)の相談に対し、相談員27名が対応してきました。

4月以降、インターネット広告の効果もあって、相談件数が、1日1件ペースにまで伸びてきています。全国でおそらく数千件もあるであろう相談の一部なりとも、受け止める機会がより多く与えられているようになってきた状況を、「in 関西」としては真摯に受け止めています。神戸・高槻他(今年度より芦屋・大阪も)各拠点では、求められた直接の相談に対し、適切かつ迅速に回答して安心感を覚えていただくとともに、その背景も含めた全体像を的確に整理し、相談員全体(「in 関西」全体)でサポートできるシステムの徹底をしっかりと図る段階にきたと認識しています。そのために、今年度は以下の項目に重点をおいていく予定です。

① 新たな電話相談員の養成

6月8日～9月にかけ、全7回の集中養成講座を開催し、3期生として新たに15名を募集します。産婦人科医・養子縁組団体管理者・精神科医・臨床心理士などを講師に、医学的知識・社会支援制度・カウンセリングの基礎と実際を学び、それらを、「in 関西」の理念の下に活用できる人材を養成いたします。

② 現行相談員相互のスキルアップ

電話相談員の中には、週に複数回、拠点に待機し、すでに20回を超えて相談に応じる人もいれば、月に2度に満たない待機回数で、まだ実際に相談電話を受ける機会に遭遇しない人もいます。まずは、最低限、月に2回以上の拠点待機(当番という)ができるよう、連絡・連繫をしっかりと構築していくようにします。その上で、上記①の養成講座への自主参加や、(一社)全国妊娠SOSネットワークをはじめとする外部研修会への参加、実際の電話相談事例に基づいた各拠点での自主勉強会、相談員全体の勉強会を複数回開催し、個々の力量さらには、相談員全体の有機的総合力を上げることを目指していきます。その際、助産師・看護師・精神保健福祉士・心理士の資格をもつ相談員の経験も十分に活かせるようにしていく予定です。

③ 作成したカルテの吟味(相談シート・専門家への相談シート)

②とも関連しますが、日々の電話相談、なかでも複数回かかってくる電話相談内容を、相談員全体で

きちんと把握共有しておくことは、「in 関西」全体の総合力向上にとっては必須事項です。短い場合は数分であっても、長い場合は1時間以上もある相談内容を、簡潔明瞭に1枚のカルテに記載することは相応の修練を伴います。その向上のため、他の相談員から、忌憚なく良かった点や逆に不明点や不備な面をお互いに表明・指摘し合うことが大切です。折々の勉強会の際に、各種カルテの吟味も取り上げていきます。

④ 面談グループによる面談の本格的実施

今後、相談件数が増え、複雑な内容を伴う相談が散見する先には、即座もしくは緊急に面談を実施し、場合によっては協力（および連携）病院に繋いだり、その他、具体的に住宅確保・生活立て直し・里親や特別養子縁組等の支援をしたりするケースも出てくると思われます。現在、心理士を中心に看護師・助産師経験者で面談グループを結成していますが、その円滑な運営スキームを事前に構築しておき、即時の対応ができるようにしていきます。

なお、妊娠中や出産後の具体的な支援費用の調達については、民間団体による支援をはじめ、公的機関の様々な制度を縦横に把握しておくことが喫緊の課題となっており、相応のチャンネルを相談員全体が把握していく必要があると考えています。

⑤ 理念もシステムも全員で共有する態勢の確立

当会の眼目は、実働 20 数名の電話相談員（助産師・看護師などの有資格者もいれば、資格のない者もいる）が、近畿圏内 4 箇所のいずれかにおいて、複数交代当番制で、「in 関西」の理念に基づいた同じ姿勢で電話相談に応じ、悩める妊婦やその関係者に寄り添い、お腹の中の赤ちゃんのいのちを守る方向に何とか導いていくことであります。それに向かっては、システム（受話→相談対応→カルテ作成→クラウド上のカルテ庫に蓄積→各拠点からのカルテ検索・参照）上の情報共有と、相談員同士の迅速な連絡網（全員への個人アドレスの付与といわゆるビジネスチャット〈Slack という〉の活発なる展開）を軌道に乗せ、1 + 1…の力が等比級数的にアップさせられるようにしていく年といたします。



思いがけない妊娠相談

まる5っ お産を燦燦おんなの子
050-3033-0705

匿名でも相談OK！、番号非通知でもかかります。

さらに、電話相談の実数を伸ばす一助として、ホームページはもちろんのこと、ソーシャルメディア「Facebook」「Twitter」などでの告知や実施も引き続き行っていきます。



電話相談

- (1) 期 間 : 2019年4月 - 2020年3月
- (2) 場 所 : 神戸・高槻・芦屋・大阪の4拠点
- (3) 内 容 : こうのとりにんしんSOS相談窓口(相談員30名)
* 場合によっては、法律等の専門家や病院の協力を仰ぐ
- (4) 目 標 : 電話相談年間300件
- (5) 成果物 : 電話相談報告書および統計

電話相談員養成

- (1) 期 間 : 2019年6月 - 9月(7回)
- (2) 場 所 : 神戸市
- (3) 内 容 : 電話相談員養成講座
- (4) 目 標 : 新たに15名の電話相談員の養成
- (5) 成果物 : 電話相談員養成講座終了者数、電話相談員研修報告書

現行相談員スキルアップ

- (1) 期 間 : 2019年4月 - 2020年3月
- (2) 場 所 : 近畿圏各地
- (3) 内 容 : 事例研究、カンファレンス
- (4) 目 標 : 参加累計100名
- (5) 成果物 : 電話相談員研修事例研究レポート

面談

- (1) 期 間 : 2019年4月 - 2020年3月
- (2) 場 所 : 神戸・高槻・芦屋・大阪の4拠点
- (3) 内 容 : 5名の面談グループを中心に、相談内容を具体化した上で、連携病院・避難シェルター・養子縁組支援団体等につなぐ
- (4) 目 標 : 年間30件の相談対応
- (5) 成果物 : 報告書および統計

広告宣伝

- (1) 期 間 : 2019年4月 - 2020年3月
- (2) 場 所 : 関西各地(広告物設置箇所)
- (3) 内 容 : ポスター、チラシ、カード、リーフレットの掲示、配布
- (4) 目 標 : ポスター(A2)80枚、(A3)30枚、チラシ(A4)800枚、カード9000枚、リーフレット3000部
- (5) 成果物 : ポスター、チラシ、カード、リーフレット、認知カード、配布場所、掲示場所情報など

(2) こうのとりのゆりかご連携施設、同設置施設の開設および支援事業

現在、大阪府下の 2 病院とは、当方の電話相談員が、病院側医療ソーシャルワーカー（MSW）を通じて、医学上の助言を求められることができる協力病院としての関係が始まっています。今後は、電話相談および面談相談で明らかとなる具体的な課題に対して、助言のみならず具体的な執行機関（外来診療・分娩申込み・入院・出産などの受入れ）としての連携病院や助産院との協業確立が必要となってきます。そのための開拓を、本年度も理事長を先頭に行っていきます。開拓分野としては、大阪婦人科医学会発行の『未受診や飛び込みによる出産等実態調査報告書』（平成 25 年度大阪府委託事業・2014 年 3 月）内の「未受診妊婦受入施設」一覧を一つの参考といたします。最終目標は、将来の「こうのとりのゆりかご」設置病院（匿名出産も受け入れる）の開設および支援であることは言うまでもありません。

前述しましたが、こうした病院とのやり取りの実際においては、妊婦支援の費用をどう確保するかが、現実の課題です。具体的に最後までサポートできる態勢を展望いたします。

(3) 養子縁組支援事業

養子縁組を希望する妊婦・母子への対応は、現在、第二種社会福祉事業の届出のある 2 つの法人（公益社団法人・神戸市、NPO 法人・茨城県）と連携をとっています。養子縁組についての知見の向上、支援の方法や手段の研究など、協業事業者と共に学び合える関係性を構築し、養子縁組支援の質の向上や新しい取り組みなどの研究を継続実施していきます。

また、出生した子どもを養親の下へつなぐまで、約 2 か月間子どもを預かる場所を確保する必要がありますが、里親資格を有する人であれば、子どもを預かることができるとされています。本年度は、相談員の中から希望者を募り、里親資格研修を受けてもらい、有資格者を複数名確保することといたします。そのことにより、乳児院にすぐに入れないケース、病院内にいつまでも残りかねないケースなど緊急事態への受け入れ態勢があることをきちんと内外に告知していきたいと思っています。

(4) お腹の赤ちゃんも大切な社会の一員であることを啓発する講演会、セミナー開

6 月 23 日（日）『これからの性教育…生命尊重の視点から』と題し、渡邊安衣子氏をお招きします。併せて、広く「in 関西」の理念や事業への啓発の機会といたします。

・ **渡邊安衣子氏** 助産師、京 mom キレイ代表。現在、京都市保健センターの母子訪問（年間約 200 件）、公益社団法人京都府助産師会・性教育事業代表として、性教育講演を年約 50 回。1000 人以上の子どもたちに、いのちの大切さを伝え、また日々女性たちの深い悩みと向き合っている。



この他、10月や3月にも講演会を開催いたします。当会の理事長・副理事長を中心とした「in 関西」の具体的活動報告を兼ねた啓発講演会・セミナー、中絶問題に特化して踏み込んだ議論を、刑法学者や中絶反対のプロライフ団体代表等を招いてシンポジウムを行うことの実現化を始めています。

(5) 青少年への生命尊重教育事業

青少年への生命尊重教育事業については、上記6月23日の講演会により、青少年の現状の把握と、性教育などの教育的授業を実施している助産師会などの取り組みを学び、その上で、将来的に対策出前授業（長期休暇前など）の実施を検討していきます。

2. 事業実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

| 定款の事業名 | 事業内容 | 実施日時 | 実施場所 | 従業者 | 受益対象者の範囲および人数 |
|--|--|---------|------------------|------|-----------------------------|
| 妊娠、出産に悩む妊婦と、その家族のための電話相談および面談事業 | 「このとり・にんしん SOS」電話相談 | 通年 | 関西圏内の 4 拠点 | 30 名 | 全国各地から約 300 名 |
| | 電話相談員養成 | 6~9 月 | in 関西事務局（神戸市中央区） | 8 名 | ボランティア研修者 105 名（累計） |
| | 現行相談員スキルアップ | 通年 | 近畿圏各地 | 6 名 | 現行電話相談員 100 名（累計） |
| | 面談 | 通年 | 関西圏内の 4 拠点 | 5 名 | 全国各地から約 30 名 |
| | 広告宣伝 | 年度内 | 関西各地 | 60 名 | 設置 200 箇所 カード配布枚数 9000 枚 |
| このとりのゆりかご連携施設、同設置施設の開設および支援事業 | 協力病院や専門家（法律等）との業務提携 | 通年 | 連携委託先 | 6 名 | 不特定数 |
| | 連携施設や設置施設の発掘と折衝 | 随時 | 対象施設 | 5 名 | 近畿圏内の対象事業者 |
| 養子縁組支援事業 | 民間養子縁組仲介事業者との連携による養子縁組支援の研究と連携 | 随時 | 第二種社会福祉事業者 | - | - |
| | 里親資格研修 | 随時 | 各都道府県下 | 数名 | 不特定数 |
| お腹の赤ちゃんも大切な社会の一員であることを啓発するための講演会、セミナーの開催 | 渡邊安衣子氏（助産師）による、『これからの性教育…生命尊重の視点から』公開講演会 | 6月23日 | 神戸市中央区 | 16名 | 120名 |
| | 講師未定 | 10月 | 神戸市中央区 | 20名 | 180名 |
| | 講師未定 | 3月 | 神戸市中央区 | 20名 | 180名 |
| 青少年への生命尊重教育事業 | 6月23日の講演会を受け、対策出前授業の実施を検討 | 長期休暇前など | 中学・高等学校 | 5名 | 当該学校生徒 |